

アルカリ剤添加による 飛灰上でのダイオキシン類生成抑制	
Inhibition of Dioxins Formation in Fly Ash by Addition of Alkaline Chemicals	
<p>本研究は、ダイオキシン類の再合成を抑制する方法として化学的抑制法に着目し、アルカリ剤を飛灰に添加することにより飛灰上でのダイオキシン類再合成の抑制を目指すものである。添加する薬剤としては、NaOH、NaHCO₃、Ca(OH)₂を用いた。模擬飛灰、実飛灰に対して、アルカリ剤を乳鉢混合し、300℃で加熱を行うと、模擬飛灰、実飛灰ともにCBzs、PCBsの生成抑制効果が得られた。</p> <p>また、X線吸収微細構造(XAFS)による銅の化学形態の測定から、実飛灰の薬剤添加なし条件とNaHCO₃添加条件では、300℃から400℃において強い還元状態が作られるが、NaOH添加条件とCa(OH)₂添加条件ではそれが見られなかった。すなわち、添加なしの条件とNaHCO₃添加条件では、塩化銅の二価の銅が塩素を放ち、その化学形態を変えることでその塩素と炭素が反応し、芳香塩素化合物が作られやすくなることが考えられた。</p>	
藤永 泰佳	Yasuka Fujinaga
アルカリ剤、飛灰、銅化合物、CBzs、PCBs	
Alkaline Chemicals, fly ash, copper compounds, CBzs, PCBs	